

2月15日（水）3年社会科学習 大津板紙株式会社の皆さんに学びました

3年生の社会科「解き明かそう 工場にかくされたひみつ（工場ではたらく人びとのしごと）」の単元で、附属小のすぐそばにある大津板紙株式会社のみなさんにご指導いただきました。同社は本校と長年つながり、社会科学習で特にお世話になっている地元の企業です。

当日は、同社の様々な部署から11名の方が来校くださいました。仕事や取組についてスライドで説明していただいた後、現地での工場案内、再び学校に戻っての質疑応答をしていただきました。また、板紙の現物を吊り下げて展示していただき、子供たちはその大きさに驚いていました。

子どもたちは、会社の仕事内容や工場の仕組みを学ぶ中で、「古紙のリサイクルの取組がすごいから、もっとがんばってほしい。」「私も応援したい。」と話すなど、見方が大いに広がっていました。また、社員のみなさんから「働くことは大変だけど、自分がかんばったことで誰かに認めてもらったり、感謝されたりすると、やっていてよかったなと思う。」といったお話を直接お聞きすることで、自分がかんばっていることや自分の将来とつなげて考える様子も見られました。

たくさんの学びがあった1日でした。大津板紙株式会社のみなさん、ありがとうございました。

